



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

2016 年 新春夫婦例会



1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング
4. ゲスト紹介

「君が代」
「奉仕の理想」
米山奨学生 郎 彦 昆 君
会員の奥様

- ## 5. 出席報告


出席者数 41 名
出席率 85.42 %

- ## 6. 会長スピーチ

会長 阪口 洋一 君

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本日は会員の奥様をゲスト
 にお迎えしての新春夫婦例会
 です。多数の奥様そして会員の
 皆様のご出席をいただき有難
 うございます。私たちロータリアン
 はご家族の理解と
 応援に支えられ地域社会や世界
 への奉仕活動を行う
 ことが可能となるのです。ロータ
 リーフAMILYに感謝申し上げます。



昨年(2019年)の7月に村田宏之さんという新しいロータリーの仲間を迎えることができました。入会して早6か月が経過しすっかり当クラブに溶け込んでおられるようにお見受けいたします。

米山記念奨学生の郎彦昆さんようこそお出でいただきました。今宵は皆様と共に楽しいひと時を過ごして、なお一層の親睦を深めたいと思います。

今年度の海南東ロータリークラブの事業は昨年末での前半の行事を皆様のご協力のおかげで無事終えることができました。ありがとうございました。今年に入ってからのは後半には、フィリピン・マンダウェイイーストＲＣ訪問、韓国ソウルでの世界大会、地区大会、宮崎中央ＲＣの３０周年記念式典への参加、

家族例会、たんぽぽの会との交流会等大事な行事が沢
山予定されております。

ご多忙とは存じますが、皆様のご協力、ご参加をお願いいたします。

今年度の国際ロータリーの会長であるラビンドラン会長のテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。会長はさらに、皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください、と言っております。「皆さん自身を捧げてください」これはどう言うことを意味しているのでしょうか？身を以て地域社会や世界に奉仕してほしいと受け止める事ができます。

身を以て地域社会や世界に奉仕した人はマザー・テレサさん、オードリー・ヘップバーンさんなど世界に沢山おられますが、日本にも多くの方がおられます。第二次世界大戦中に政府の訓令に違反して大量のビザを発給して 6,000 人のユダヤ系の難民を救った外交官の杉浦千畝さん。三菱財閥の岩崎弥太郎の孫娘で、敗戦後、エリザベス・サンダーホームを創設し、2,000 人の混血孤児を育て上げた沢田美喜さん。など多くの日本人がおられますが、私が最も感動した人は、北原怜子(きたはら さとこ)さんと言う女性です。「蟻の街のマリア」として世界から賞賛されている女性です。北原怜子さんは 1929 年に裕福な大学教授の家庭の三女として東京で生まれ、言ってみれば“いいところ”の令嬢であったのです。その彼女が、戦後間もない 1950 年代隅田川の言問橋界限にあった通称『蟻の街』と言うバタヤ集落に住み込み、キリスト教的奉仕精神で、そのこども達の教育向上や町の改善に取り組む『蟻の街のマリア』の愛称で呼ばれましたが、蟻の街における諸々の奉仕活動で体力的な無理がたたリ、著しく健康を害し、療養のため一時蟻の街を離れますが、自分の死期を悟ると再び蟻の街に移住し、1958 年(昭和 33 年) 1 月に、28 歳の若さで亡くなりました。北原怜子さんの蟻の街での活動は世界でも多くの人の知ることになりました。

私たちはこのようなことは到底できませんが、小さい事でも身を以て社会に奉仕することを心がけたいと深く思います。

今年も皆様にとって素晴らしい年でありますよう
お祈り申し上げ、本日の懇親会をお世話頂きました前
田委員長はじめ、親睦活動委員会の皆様に厚く御礼申
し上げます。ありがとうございました。

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ① 真実かどうか ③ 好意と友情を深められるか
② みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市目方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：阪口 洋一 幹事：横出 廣 SAA：千賀 知起

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail : info@kainaneast-rc.jp

7. 幹事報告

幹事 横出 廣 君

○例会臨時変更のお知らせ

有田南RC 1月5日(火)→1月8日(金)
18:30～ シーサイド松宮
「新年例会」

那智勝浦RC 1月7日(木) → 1月7日(木)
11:40～ 初詣 熊野那智大社
12:30～ 例会 ホテルなぎさや
1月28日(木) → 1月28日(木)
12:30～ 紀伊田辺シティプラザH
(ガバナー公式訪問合同例会)

和歌山中RC 1月8日(金) → 1月8日(金)
19:00～ ルミエール華月殿
新年例会
第3回 IDM テーマ発表

○地区大会事務所開所のお知らせ

開所日 2015年12月21日
業務時間 10:00～14:00 土日休み
住所 ガバナー事務所内
TEL・FAX ガバナー事務所 同様
地区大会専用
E-mail rid2640-chikutaikai@circus.ocn.ne.jp

○1月ロータリーレート

1\$=120円

8. 新春例会の様子



乾杯 上野山副会長



アトラクション TONPEI【トンペイ】ライブショー



9. 閉会点鐘

次回例会

第1859回 平成28年1月18日(月)
海南商工会議所4F 12:30～
お誕生お祝い・ご結婚記念日お祝い



ロータリアンの“フードファイト” 米国での食料支援プロジェクト

食べ物がなくて困っている人はアメリカにも大勢おり、ミズーリ州の一部地域に限ると、その数は6人に1人となります。そこで、ロータリー会員のステイブ・デュールさんはある提案をしました。地元ロータリー地区のガバナー就任を控え、通例の食事会ではなく、食糧バンクへの支援を地区会員にお願いしたのです。その結果、会員だけでなく、ローターアクトや地元住民が競って支援を寄せる“フードファイト”となり、保存食4,500キログラム以上と寄付19,000ドルを集める大成功プロジェクトとなりました。

中でも際立った活躍をしたのは、ジェファーソンシティのロータリー会員です。土曜日にスーパーマーケットの外で買い物客に協力をお願いし、約1,130Kg分の保存食品を集めました。コロンビア市の会員も多くの時間をボランティア活動に捧げ、2,000ドル以上を寄付したクラブも複数ありました。また、ローターアクトの参加も大きな力となりました。

さらに、地域住民と力を合わせて約2,270キログラムものライスクリスピー(アメリカ伝統のシリアル菓子)の梱包作業に参加。はしごに登ったボランティアが幅4.6メートルの箱からシャベルでシリアルを大きな容器に移し、それをプラスチック容器に小分けする作業では、参加者全員が息を合わせる必要があります。奉仕を大切にするロータリーを象徴する活動で新年度をスタートしたかったとデュールさん。この初の試みを通じて会員の結束も強まったと話します。実際、地区内49クラブ中、36クラブが参加しました。

クラブ会長のラリー・プライスさん(マウンテンビューRC)は、「自分の町に食糧バンクの世話になっている人がこんなにいるとは知らなかった」と語り、思い出に残る経験になったと振り返ります。「食料を受け取った方々も、とても感謝していました」

第2640地区 地区大会

2016年2月27日(土)～28日(日) 和歌山市

- 2月27日 本会議(ルミエール華月殿)
RI会長代理歓迎晩餐会(ホテルアバローム紀の国)
- 2月28日 本会議、記念講演ほか(和歌山県民文化会館大ホール)